

A-2 国語科の基本的な学習過程

(読む教材) 中学年

* 発達段階や学年に応じたスパイラル(反復)による指導計画を作成する。

過程	主な学習活動(課題解決型)	教師の指導・助言	期待する児童の姿
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のふり返しをする ○本時の課題をつかむ(確認する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真、学習をまとめた掲示物等の資料を提示し、視覚に訴え、課題をとらえやすくする。 ・前時のキーワードや表現方法をふり返し、本時の課題解決の見通しや意欲をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や挿し絵と文章をつなげ、進んで教材文を読もうとしている。 ・初発の感想を自分の言葉で書いたり、話したりできる。 ・既習の教材文や前時の学習を想起し、学習の見通しを持つ。
考える	<ul style="list-style-type: none"> ○学習場面の音読をする ○一人読みをする ○自分の考えをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員・班・ペアなど、変化をつけて繰り返し読ませ、内容が把握できるようにする。 ・一人学習の時間を確保する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想、段落番号、 ・キーワード(根拠となる言葉)の線引き、書き込み ・課題に対する自分の考えを書く </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音読に取り組んでいる。 ・一人学習の手順を身につけ、進んで学習を進めている。 ・まず課題に対する自分の考えを書く。次にキーワードを基に根拠を書く。根拠になる言葉(キーワード)はできるだけ短く選ぶ。 ・自分が意見を言うつもりでノートに書く。
深める	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いの考えをグループや全体で交流し、自分の読みを深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて基本的な話し方、聴き方を意識させ、友達の発言につなげた話し方を認め広げる。 ・本時のねらいに迫るために、深める発問を工夫する。 ・自分の意見や考えだけでなく、わけも言うように促す。 ・児童の考えを根拠となる叙述とつなげる。 ・児童の発言を意図的に板書に位置づけ、構造的な板書にする。 * 必要に応じてグループ交流の時間をとる。 	<p>〈話す〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず自分の考え(立場)を明確にし、次にその根拠を伝える ・聴き手の反応を意識して、念を押しながら話す。 <p>〈聴く〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と比べながら聞き、反応、付け加え、質問をする。 ・分からないことも素直に言葉にできる。
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめる(まとめの音読をする) ○ふり返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を基に、短時間で書けるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめと振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・がんばったこと、友達のよかったところ ・変容を書く </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己評価や相互評価を広め、一人一人のよさやクラスのよさに気付けるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題にもどってまとめる。 <p>(活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分や友だちのよさを見つけ合い、次時に生かす。 ・友達の考えで自分の考えがどう変容したか ○前後の場面や、自分の生活経験とつなげてさらに考える。